

令和4年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第162号	令和4年度宝塚市一般会計補正予算（第9号）	可決 （全員一致）	12月20日

審査の状況

① 令和4年12月20日（議案審査）

- ・出席委員 ◎富川 晃太郎 ○田中 大志朗 梶川 みさお 北山 照昭
寺本 早苗 となき 正勝 中野 正 村松 あんな

② 令和4年12月20日（委員会報告書協議）

- ・出席委員 ◎富川 晃太郎 ○田中 大志朗 梶川 みさお 寺本 早苗
となき 正勝 中野 正 村松 あんな
- ・欠席委員 北山 照昭

（◎は委員長、○は副委員長）

令和4年第4回(12月)定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第162号 令和4年度宝塚市一般会計補正予算(第9号)

議案の概要

補正後の令和4年度宝塚市一般会計の歳入歳出予算の総額

919億5,062万7千円(2億9,798万4千円の増額)

歳出予算の主なもの

増額 出産・子育て応援交付金事業、新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業

歳入予算の主なもの

増額 国庫支出金 出産・子育て応援交付金
県支出金 妊娠出産子育て支援交付金
繰入金 財政調整基金とりくずし

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 出産・子育て応援交付金事業における会計年度任用職員やコールセンター設置運営委託などの具体的な体制は。

答1 会計年度任用職員として雇用する保健師には伴走型支援の相談業務を、事務員には経済的支援に係る事務処理業務をそれぞれ想定している。

今回の出産・子育て応援交付金は令和4年4月以降の出産を対象とするもので、問合せが多いと想定しており、コールセンターを3か月間開設し対応したいと考えている。

問2 キャッシュレスポイント還元事業の執行見込みが当初の見込額を超過したが、超過分は市単独事業となるのか。

答2 予算超過分を今回補正予算で計上しているが、決算時には地方創生臨時交付金を充当できる見込みであり、現在調整中である。

問3 キャッシュレスポイント還元事業に関する手数料と委託料の違いは。

答3 委託料は運営支援事業者を支払われるものであり、手数料はキャッシュレス決済事業者に対する運営事業費で、運営支援事業者を通じて支払われる。

問4 キャッシュレスポイント還元事業に係る委託業務の内容は市が直接実施できるものではないのか。

答4 委託事業者は、対象店舗とキャッシュレス決済事業者との調整、対象店舗や利用者からの問合せに対応するコールセンターの設置、広報活動等を行い、事業全般を

円滑、かつ効果的に運営できるよう支援をお願いしている。今の人員体制の中で、市がそれらを担うことはかなり厳しいものと感じている。

問5 学校保健特別対策事業費補助金の追加申請分について、1校当たりの補助上限額が引き上げられたとのことだが、追加申請額がゼロ円となっている学校がある。追加申請の条件を理解した上で申請しなかったのか。

答5 補助対象額の上限額は児童生徒数で決められており、11月の校園長会で説明した上で、各学校から必要金額の申請を受けている。

問6 小・中学校で学級閉鎖が相次いでいるが、新型コロナウイルス感染症の感染対策は十分に行っているのか。

答6 インフルエンザ及び季節性の風邪もはやっており、学級閉鎖となる学校が増えている。マスクの着用や黙食の緩和などが進められているが、各学校では手洗いの励行やメリハリをつけたマスクの着用など十分な対策を実施している。

問7 設置予定の送迎用バス安全装置はどのようなものか。

答7 従来型は、エンジンを切るとブザーが鳴り、後方座席のボタンを押してブザーを止める際に、各座席を確認していく仕組みのもの。しかしこれでは不十分であるとして、もっと安全な装置となるよう、現在、国土交通省のワーキンググループで検討を行っている。

問8 1台当たり18万円の定額補助となっているが、安全装置の金額が18万円以下の場合はどうなるのか。

答8 12月中旬に国から正式なガイドラインが示される予定であり、これに準拠した装置を整備することになっているが、現時点ではまだ詳細が示されていない。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）